

VI 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	中 村 英 子
副 委 員 長	古 市 雅 英
委 員	則 武 大 輔
委 員	田 宮 知 行
委 員	伊 藤 昭 三
委 員	山 田 久 子
委 員	服 部 光 弘
委 員	佐 治 道 弘
委 員	佐 藤 篤 松
委 員	加 藤 勝 博

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

ア 社会教育委員会議の構成

(ア) 会議の種類

定例会（年2回開催7月・11月）

(イ) 構成員

社会教育委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、社会教育主事、図書館長補佐

② 会議の運営状況

平成20年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
平成20年 7月4日 (定例会)	【協議事項】 1 平成19年度事業報告について ア 生涯学習関係事業報告について イ 生涯スポーツ関係事業報告について ウ 歴史民俗・文化財保護関係事業報告について エ 蟹江町図書館事業報告について 2 平成20年度事業計画について ア 生涯学習関係事業計画について イ 生涯スポーツ関係事業計画について ウ 歴史民俗・文化財保護関係事業計画について エ 蟹江町図書館事業計画について
平成20年 11月10日 (定例会)	【協議事項】 1 平成21年度生涯学習事業計画及び図書館事業計画について

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催

(平成20年度実績)

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館			中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数	開催数	募集人員	参加数
和装着付け&お作法				8回	30人	35人
話し方の基本と テクニック	5回	20人	16人			
デジカメ入門教室	3回	15人	13人			

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減免することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子育てママのリフレッシュ講座	5回	25組 50人	25組 53人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組 40人	17組 35人	愛知県防災ヘリ (名古屋空港)
親子キャンプ教室	1回	100人	94人	蟹江町野外活動センター (三重県いなべ市藤原町)

〔点検・評価〕

講座・教室の参加応募は、ほぼ定員となっており、親子キャンプについては、毎年抽選をするなど順調に推移している。参加者のアンケート調査では、好評な評価を得ているが、野外活動センターの老朽化に伴う施設の改修を要望される意見が多く、今後の検討課題である。

② 人権教育研修

- ・ 人権指導者研修会(県教育委員会主催事業) 年2回

〔点検・評価〕

県主催の研修会へ町教育関係者が参加しているが、人権教育啓発運動に取り組むなど、今後の課題として検討していきたい。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ハイキング&いも堀り	1回	50人	53人	蟹江町野外活動センター (三重県いなべ市藤原町)
子ども料理教室	3回	42組 84人	42組 84人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

(開催日：平成21年1月11日(日) 対象者：441人 参加者：339人)

③ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月1回、中央公民館分館にて実施している。

④ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

[点検・評価]

講座での参加応募は、ほぼ定員となっており順調に推移している。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げているため同窓会的な役割を担っていて好評である。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9部門 57団体 971人 補助金1,239,850円

② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 14,000世帯 補助金1,150,000円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 3,271人 教職員 204人

交付金2,476,340円

④ 蟹江町民まつり実行委員会

町民夏まつり「納涼フェスティバル」開催に交付金を交付し、まつり運営を支援する。

交付金3,993,427円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 平成20年7月6日(日) 開催場所 蟹江中央公民館集会室
- ・ 講師 紺野美沙子 演題 「豊かさとは何か」 450人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 平成20年11月1日(土)・2日(日) 2,800人
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

③ 創年式の開催

60歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。

- ・ 開催日 平成20年10月19日(日) 対象者：704人 参加者：220人
- ・ 内容：式典、講演会、各種相談コーナー

(年金相談・健康相談・ボランティア・生涯学習)

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり町民大会は、土曜日から日曜日に開催日を変更したことにより参加者が、昨年よりも多くなった。

また、今年初めて開催した創年式は、対象者から見ると出席率が31%であったが、対象者と協働して企画することにより、さらに参加者が増えるのではないかと思われる。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数	306日(祝日開館実施)
入館者数	大人 8,220人(433人)
	小人 2,140人(177人)

1日当たり 33.86人

〔点検・評価〕

平成20年度から月曜日以外の祝日を開館することになり、入館者数が増加した。また、年に6回ほど開催される近鉄ハイキングのコースのなかに当館を中継地として3回ほど設定した関係で、町外の入館者が増加した。

今後も近鉄、JR東海及び町観光協会等の民間企業とタイアップを図っていく必要があると思われる。

(2) 収集・保管

収蔵資料点数 3,338点

郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

小酒井 不木(医学博士・探偵小説家)・神田 蘇華(書道家) 掛軸等

〔点検・評価〕

町の歴史民俗に関する基礎的な資料の収集を町民各位の理解のもと提供をいただいたほか、郷土の文化人等の資料を購入し、常設展及び特別展などで展示を行った。資料の収蔵資料数は年々増加し、既存施設では収容不足となり、新たな収蔵施設の充実を図る必要があると思われる。また、祭や町並みなど映像や画像資料をデジタルデータとして保管していく必要があり、資料保存のための周辺機器や設備を整備する必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じて、各テーマを設定し、郷土の文化、民俗にかかる資料の展示を行い、さらに購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えるなどして、常設展示の充実を図った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗関連の企画展・特別展を実施した。

ア 特別展

「近鉄名古屋線・蟹江駅70年のあゆみ」	展示場所	企画展示室
展示期間 平成20年11月15日～12月21日	来館者数	1,478人
「郷土の和風展」	展示場所	企画展示室
展示期間 平成21年1月10日～2月15日	来館者数	1,495人

イ 企画展

「エコきつず調査隊成果発表展」	展示場所	ロビー展示
展示期間 平成20年8月24日～9月14日		
「蟹江の伝統工芸 日本刺繍作品展」	展示場所	企画展示室 ロビー展示
展示期間 平成21年2月27日～3月21日	来館者数	841人

〔点検・評価〕

展示活動は、資料館が資料収集した資料等を調査研究のもとに公開する事業であり、資料から一目で学習情報を読み取り、理解できるという学習効果があり、資料館の重要な事業の一つである。特に近鉄ハイキングなど、企業とタイアップしたことにより特別展示への入館者数が増加している。施設の面で充実を図ってきているが、特別展示開催中は、常設展の資料撤去によって見学が出来ないなど、根本的な展示スペースの不足などの問題があげられる。また視聴覚・ジオラマ資料など二次的なものについても導入が遅れるなどの課題があげられ、対策の検討をしていく必要がある。

(4) 調査・研究

① 須成祭記録作成事業

平成18年度から3年間の計画で行う国選択文化財須成祭の調査事業について、前年度に引き続き国の補助を受けて調査研究を行い、総合調査報告書を出版した。

② 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

③ その他調査

登録文化財への登録のための調査、愛知県史編纂等に伴う調査への協力等を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

調査・研究した資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供する点で、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。平成20年度においても重点的に資料調査活動を展開した。特に、須成祭の一連の祭事とそれを取り巻く背景について詳細に調査し、記録を残すことで須成祭の民俗的な位置づけや祭の歴史、祭の独自性などについて、後世に語り継ぐ基礎資料を整備することができた。今後、普及・活用によって祭の伝承やさらなる研究にどう役立てられるかが課題としてあげられる。平成21年度から2ヵ年にわたって行う、映

像記録事業で作成するDVDと併せ、須成祭の国指定重要無形民俗文化財に向けた資料とするため、調査報告書に併せた映像記録を行っていく必要がある。その他調査・研究事業を進めていくためにも、関係各位の協力が不可欠である。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

- ・ 歴史民俗資料館年報第29冊出版
- ・ 資料館パンフレット印刷
(町外からの来館者増加・開館日変更に伴う修正増刷)
- ・ 須成祭総合調査報告書
(須成祭調査事業(国庫補助事業)の一環) 2,000部出版

[点検・評価]

来館者が展示を見学するだけでなく、印刷物の資料と照らし合わせながら、より理解を深め、印刷物に記された情報を持ち帰ってさらに学習したいという要望に応じて、各種印刷物を刊行し資料提供を行った。

今後は、時代の変化に合わせて、視聴覚資料やインターネットなどを活用した情報提供ができることが望ましいと考えている。

(6) 教育普及

講座・教室名	中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	10	30	28
歴史文化夢案内人 (ガイドボランティア) 第5期養成講座	10	20	5
環境学習 エコきつず調査隊	5	20	20
伝統工芸学習会 刺繍学習会	5	25	17
郷土体験学習会	5	25	25
地域文化財講座	1	50	25
文化財研修会	1	100	90

〔点検・評価〕

地域の歴史民俗に関する各種講座を開催した。また、受講後に学んだことをどのように地域活動に活かすことができるか、ということを検討したボランティア養成講座も実施した。地域づくり・まちづくりに参画するための生涯学習講座を今後も継続し、講座全体への住民参画を促がして、協働による事業推進を図ることが必要と考えている。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、過去から未来に保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

事業数：町指定天然記念物(龍照院大銀杏)保護増殖・環境整備事業始め 9 事業
補助団体件数：須成文化財保護委員会始め 25 件 町費補助額 4,388,000 円

(2) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成20年10月12日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、本町分、舟入

(3) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像と富吉建速神社・八剣社本殿の公開を毎月18日及び事前申し込みに応じて行った。

公開日数 37日 延べ見学者数 4,927人

〔点検・評価〕

補助事業及び文化財公開活動を実施し、各地域に伝承された祭を始めとする無形民俗財産を積極的な保存・活用に努めることが出来た。

地域社会の伝統文化の伝承者を育成し、現代社会における熟年層の「地域忘れ」、壮年・青年層の「地域離れ」、少年・幼年層の「地域知らず」を克服する手段として積極的に文化財資料を保存・活用し、地域社会が活性化する効果が期待できる。また、文化財公開に際して歴史文化ボランティアの人材を活用することにより文化財に対する理解などを深める効果がある。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
エアロビクス教室前期	5回	120人	71人	蟹江町体育館
エアロビクス教室後期	5回	120人	21人	蟹江町体育館
健康太極拳教室	5回	50人	46人	蟹江中央公民館分館
ヨガ教室	5回	120人	109人	蟹江町体育館

〔点検・評価〕

講座・教室の参加応募は、ヨガ教室については100名を超え順調に展開している。エアロビクス教室については、アンケート調査等により、希望の多かった午後の教室を後期に開催したが、参加者が少なかったため、今後、時間帯等を検討し、住民ニーズの把握に努め、参加者が参加しやすい講座・教室を開催していく。

(2) 体育指導委員・地区スポーツ推進員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指し体育指導委員、地区スポーツ推進員を教育委員会が委嘱する。

① 蟹江町体育指導委員

- ・ 平成20年度委嘱 18人

② 地区スポーツ推進員

- ・ 平成20年度 42人（平成19年度委嘱）

③ 指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、体育指導委員及び地区スポーツ推進員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】キンボール、体力テスト、スポーツチャンバラ、タスポニー、インディアカ

④ 各種講習会

- ・ 総合型地域スポーツクラブ創設研究会
- ・ 体育指導委員各種研修会

〔点検・評価〕

体育指導委員が、各種研修会へ積極的に参加し体育指導委員の資質向上を目指し、今年度より体育指導委員を2人増員した。また、生涯スポーツを推進していく手段として、ニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、体育指導委員を中心として、地区スポーツ推進員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資すると共に、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

② 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

〔点検・評価〕

体育協会・スポーツ少年団は自主運営がなされているが、会員・団員の増員を図ることや、庶務等の事務移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① ニュースポーツフェスティバル(民生部 健康推進課 共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立つ。

- ・ 実施日 平成20年9月7日(日) 参加者数／182人
- ・ 開催場所 蟹江町体育館及び蟹江中央公民館

② 第28回 蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。

- ・ 実施日 平成20年12月14日(日) 参加者数／650人
- ・ 開催場所 日光川ウォーターパーク周辺

③ 第29回 蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツ

の振興を図ることを目的として開催する。新蟹江小学校を中継点に、5人1組で、17.3km及び12.3kmの2部門を実施した。

- ・ 実施日 平成21年1月25日(日) 参加チーム/124チーム
- ・ 開催場所 新蟹江小学校周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・ 実施日 平成20年6月1日(日) 場所 郡上市八幡町 参加者81人
- ・ 実施日 平成20年10月26日(日) 場所 三重県亀山市 参加者81人

⑤ 愛知万博メモリアル第3回愛知県市町村対抗駅伝大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・ 実施日 平成20年12月6日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園
- ・ 内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9人による継走
- ・ 出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・ 成績 町村の部 27市町村中10位

[点検・評価]

昨今の健康志向によりジョギング、ウォーキングなどの軽運動での参加者は多くなってきているが、ニュースポーツフェスティバルは、参加者が少なく、今後内容を再検討し、より多くの住民が参加したいイベントにしていきたい。

(5) その他

① 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ設立を目指し、設立準備委員会を2回、運営委員会を4回それぞれ開催し、クラブ創設に向けて検討をした。

② スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、榮譽を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者/6人

③ 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給した。 該当者／ 3人

④ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを配布することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。

- ・ 年1回 4月発行 500部

[点検・評価]

全国規模の各種スポーツ大会へ出場することで、表彰されたり、奨励金を支給されたりすることにより、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

また、総合型地域スポーツクラブ設立に向け、スポーツ関係者の理解・協力を得て、設立準備委員会、運営委員会を立ち上げ議論を重ねている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

① 男女共同参画講演会

- ・ 開催日 平成21年2月14日(土) 参加者／ 50人
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館
- ・ 講師 愛知県男女共同参画推進室 室長補佐

[点検・評価]

男女共同参画講演会を開催し50名の男女の参加があり、参加者からとても良かったとの言葉もいただき、今後も県との共催事業を計画していく。

また、国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加し、男女共同参画に関わる学習事業を企画する必要がある。また、女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めていく。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

- ① 中央公民館集会室の音響設備を改修した。
- ② 中央公民館分館の陶芸窯を改修した。
- ③ 中央公民館及び中央公民館分館の施設老朽化に伴う改修計画を策定した。

- ④ 歴史民俗資料館の施設老朽化に伴う改修計画を策定した。
- ⑤ 体育館分館の漏水修繕、内壁取替修繕及び案内看板書換修繕をした。
- ⑥ 体育館及び体育館分館の施設老朽化に伴う改修計画を策定した。
- ⑦ 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、さらに一層の利用促進を図った。
- ⑧ 生涯学習施設の使用料を見直し、使用料条例の改正をした。
- ⑨ 佐屋川グラウンドの使用料条例を制定した。
- ⑩ 学校開放施設の使用料を見直し、使用料条例の改正をした。
- ⑪ 町民プールとして、民間スポーツ施設(ケーニーズ)を借り上げ、一般開放した。
 - ・ 実施期間 平成20年6月～8月の土・日曜日・祝日(28日間)
- ⑫ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

〈点検・評価〉

グラウンド、テニスコートの有料化も利用者の理解も有り、思ったより混乱は無かった。また、体育館の利用時間の見直しにより、コマ数が増えたことにより、新たな利用者が増えたように思える。

今後も、体育施設の、有効かつ効果的な利用の推進に努める。

(2) 野外活動センター管理運営

青少年の体力向上、心身鍛錬及び学習の場であり親子が触れ合う場として、広く町民に活用を求める。

① 用地借用

平成23年3月6日で、中里地区管理委員会との借地契約期間が満期となるため、今後の計画を検討する。

② 利用促進

平成19年度に、パンフレットを更新し、PRに努めている。また、町マイクロバスの利用を可能にし、利用促進を図った。

〈点検・評価〉

施設のPR効果が出てきたのか、施設使用料も過去にない収入の伸びであった。今後はさらに、利用者を増やし、借地契約期間が満期後も再契約をして、施設改修を含め今後の計画を検討する必要がある。